

笠岡市水道ビジョン

市民のための水道を未来へ

平成19年度～平成28年度

市民のための水道を未来へ

●●●●● 笠岡市地域水道ビジョン

ごあいさつ	2
第1章 策定にあたって	3
1.1 策定の趣旨	4
1.2 水道ビジョンの位置付け	4
第2章 笠岡市の概要	5
2.1 笠岡市の概要	6
2.2 水道事業の概要	7
第3章 水道事業の現状と課題	9
3.1 水需要の見通し	10
3.2 水道事業の課題	11
第4章 水道ビジョンの基本理念	13
4.1 基本理念	14
第5章 基本理念に向けた具体的施策	15
5.1 安心・快適な給水の確保	17
5.2 災害対策の充実	21
5.3 環境・エネルギー対策の強化	23
5.4 お客様サービスの向上	25
5.5 水道の運営基盤強化	26
第6章 財政収支計画	31
6.1 財政収支計画策定の趣旨	32
6.2 財政収支計画	33
第7章 業務指標	39
7.1 業務指標による評価	40
7.2 業務指標	41

ごあいさつ

笠岡市の水道は、昭和29年（1954年）10月の給水開始以来53年を経過しました。その間、地理的・気候的条件に恵まれず“水を求めて”東奔西走した先人の苦労は、欠くことのできない笠岡市の歴史的一幕であります。

国営笠岡湾干拓計画に端を発した高梁川から延々22kmに及ぶ導水が、昭和47年（1972年）4月に実現し、慢性的な水不足が解消されました。これより水源の確保に目途がついた昭和50年（1975年）には、島嶼部（有人7島）への給水事業がスタートします。この給水事業は、海底送水管約18km、陸上送水管約13km、配水管延長約40kmに及ぶもので、6年の歳月をかけて昭和55年（1980年）4月から全島に給水を開始しました。

このような大規模な拡張事業を経て、全市域の給水を達成した現在は、維持管理の時代を迎えました。しかし、近年の水道事業の現状は、少子高齢化の進行、節水意識の定着により水需要は減少傾向が続いております。一方で安全・安心な水についてのお客様の要望は高まり、頻発する災害への対応、地球温暖化をはじめとした環境問題等、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しております。

この「笠岡市水道ビジョン」は、「市民のための水道を未来へ」を基本理念に掲げ、「安心・快適な給水の確保」等五つの基本施策を実施し、平成19年度から平成28年度までの10年間、笠岡市の水道事業の指針となる基本計画でございます。

今後は、この「笠岡市水道ビジョン」のもとに、お客様に信頼され満足される水道を目指し全力を傾注してまいります。なお一層の御理解と御協力をお願いいたします。



笠岡市水道事業管理者
笠岡市長 高木直矢

平成20年3月